

2025/04/05(土) 鋤柄岳(くわがらだけ)お花見山行

メンバー:L 谷内、伊藤、福田(記録) 辻、有賀

車の霜をガリガリして出発した朝、峠を下った下仁田は春だった。桜満開、辛夷^{こぶし}、木蓮^{もくれん}、雪柳^{ゆきやなぎ}...

次々と楽しみながら登山口へ。

正面に山の形をみてびっくり。山というより「岩の塊」今日は岩登りの下見...というリーダー。

岩苦手なものは心配の出発だ。



【コースタイム】 晴れ

08:10 鋤柄岳登山口 P

09:00 鋤柄岳

11:15 大桁山 11:40

12:50 大桁安らぎの森

13:15 鋤柄岳登山口 P

針葉樹林の中、ジグザグに30分ほどで尾根へ。三つ葉躑躅(つつじ)の群生に会う。ここで簡易ハーネスをつけ岩場に向かう。リーダーは下見に余念がない。

しっかりした鎖がつき、手がかりもあり、滑りにくい岩で高度感はあるが、進める。頂上直下初々しいピンクのアカヤシオをみつけ、山頂ではヒカゲツツジも。展望よく、まず荒船山をみつける。下見の二人は、下りのルートも確認している。岩を楽しむ人は、妙義山を含め、上州のマッターホルンとか、

次々と名前が出てくる。





岩場を慎重に下り、^{おおけたやま}大桁山へ。ここは急登の連続、^{ふくらはぎ}脹脛が
たいへんだ。関東ふれあいの道と、S63 年整備の石柱ある
が、40 年近い木の段差は崩れが出て歩きにくい。
山頂から、妙義山、白い谷川岳が見える。昼食にするが寒い風に早々切り上げる。



◀ 鉾柄岳からの展望

◀ 左から荒船山
妙義山
鹿岳、
四ツ又山



▲ヒカゲツツジ

下りは、地図とスマホのお世話になりながら、林の中を藪漕ぎチックにショートカットしたり、行き過ぎた道を探したり、刺激的だった。

2つの山は、それぞれ違う楽しみ方が、コンパクトにつまっていた。内山トンネルを越えた信州は、雪が残っていて春はまだまだ。一足はやい、まさにお花見山行だった、満足！



▲アカヤシオ



▲アカヤシオ

【編集後記】

リーダーがクライミングの下見を兼ねて選んだ鍬柄岳。一般登山が主流の自分たちにとってはなかなか手ごわい岩峰。カラビナをつけた簡易ハーネスを装着、設置された鎖にカラビナで安全確保しながらの実地訓練だった。遠目で見た岩峰はとても登れそうにない山様に見えたが、岸壁を回り込むように鎖が設置され、足元の岩にはしっかり刻みがつけられていた。100mほどの距離で、案外あっけなく山頂に到達。短いけれどなかなかスリリングで面白い工程だった。山頂からの絶景もすばらしく、アカヤシオ、ヒカゲツツジの花々が彩を添えてくれ、楽しいお花見山行となった。

辻